

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014 年 9 月 25 日(25.09.2014)



(10) 国際公開番号
WO 2014/147927 A1

- (51) 国際特許分類:
G06Q 10/10 (2012.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2014/000185
- (22) 国際出願日: 2014 年 1 月 16 日(16.01.2014)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2013-058224 2013 年 3 月 21 日(21.03.2013) JP
- (71) 出願人: NECソリューションイノベータ株式会社(NEC SOLUTION INNOVATORS, LTD.) [JP/JP];
〒1368627 東京都江東区新木場一丁目 1 8 番 7 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 中尾 勇介(NAKAO, Yusuke); 〒1368627
東京都江東区新木場一丁目 1 8 番 7 号 NEC
ソリューションイノベータ株式会社内 Tokyo
(JP).
- (74) 代理人: 岩壁 冬樹, 外(IWAKABE, Fuyuki et al.);
〒1040031 東京都中央区京橋二丁目 8 番 7 号

読売中公ビル 6 階 サンライズ国際特許事務所
Tokyo (JP).

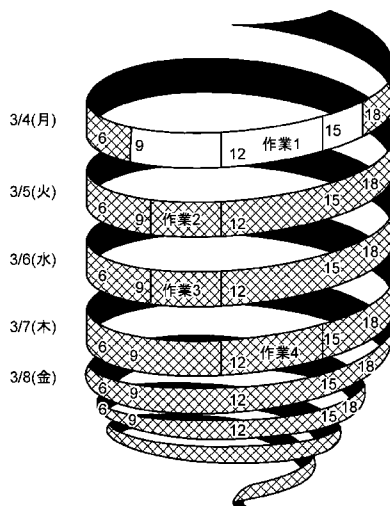
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

[続葉有]

(54) Title: CALENDAR DISPLAY DEVICE, CALENDAR DISPLAY METHOD, AND CALENDAR DISPLAY PROGRAM

(54) 発明の名称: スケジュール表示装置、スケジュール表示方法およびスケジュール表示プログラム

【図3】



3/4 (Monday)
3/5 (Tuesday)
3/6 (Wednesday)
3/7 (Thursday)
3/8 (Friday)
Operation 1
Operation 2
Operation 3
Operation 4

(57) Abstract: This calendar display device is provided with a display processing unit (2) that uses an image representing a three-dimensional object to display a calendar on a screen on a handheld terminal. Said display processing unit (2) displays the calendar such that calendar items that are displayed closer to the front of the object have a greater display width per unit time.

(57) 要約: スケジュール表示装置は、携帯端末の画面に3次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表を表示する表示処理部2を備え、表示処理部2は、物体の手前側に表示されるスケジュール項目ほど、単位時間当りの幅を広く表示する。



添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称：

スケジュール表示装置、スケジュール表示方法およびスケジュール表示プログラム

技術分野

[0001] 本発明は、スケジュールを表示するスケジュール表示装置、スケジュール表示方法およびスケジュール表示プログラムに関する。

背景技術

[0002] 近年、スマートフォンなどの携帯端末が一般的に用いられている。また、そのような携帯端末に、スケジュールを管理するためのスケジュール管理ソフトウェアが使用されている。図8は、一般的なスケジュール表の例を示す説明図である。一般的なスケジュール管理ソフトウェアでは、例えば、図8に示すように複数の項目を縦方向に並べて表示したスケジュール表が用いられている。

[0003] また、特許文献1には、定期予定をスケジュール表示する際、条件により表示形式の設定ができるスケジュール表示装置が開示されている。特許文献1においても、図8に示すように複数の項目が縦方向に並べて表示されたスケジュール表が用いられている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開平11-219392号公報（図6、図7）

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] しかし、携帯端末の画面はデスクトップPC（Personal Computer）に用いられるディスプレイ装置に比べて小さいため、スケジュール表の各項目も小さく表示される。そのため、ユーザにとって操作がしづ

らいという課題がある。特に、操作がタッチパネルにより行われる場合、誤操作が生じ易い。また、スケジュール表の各項目を大きく表示させた場合、表示できる情報が少なくなり一覧性が低下するという課題がある。

[0006] そこで、本発明は、操作性および一覧性が高いスケジュール表を表示することができるスケジュール表示装置、スケジュール表示方法およびスケジュール表示プログラムを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0007] 本発明によるスケジュール表示装置は、携帯端末の画面に3次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表を表示する表示処理部を備え、表示処理部は、物体の手前側に表示されるスケジュール項目ほど、単位時間当りの幅を広く表示することを特徴とする。

[0008] 本発明によるスケジュール表示方法は、携帯端末の画面に3次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表を表示し、物体の手前側に表示されるスケジュール項目ほど、単位時間当りの幅を広く表示することを特徴とする。

[0009] 本発明によるスケジュール表示プログラムは、コンピュータに、携帯端末の画面に3次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表を表示し、物体の手前側に表示されるスケジュール項目ほど、単位時間当りの幅を広く表示する表示処理を実行させることを特徴とする。

発明の効果

[0010] 本発明によれば、操作性および一覧性が高いスケジュール表を表示することができる。

図面の簡単な説明

[0011] [図1]本発明によるスケジュール表示装置の構成を示すブロック図である。

[図2]本発明によるスケジュール表示装置の動作を示すフローチャートである。

[図3]スケジュール表の表示例を示す説明図である。

[図4]スケジュールの詳細内容の表示例を示す説明図である。

[図5]スケジュールの時間が変更された画面の例を示す説明図である。

[図6]スケジュール表の段数が変更された画面の例を示す説明図である。

[図7]本発明によるスケジュール表示装置の主要部の構成を示すブロック図である。

[図8]一般的なスケジュール表の例を示す説明図である。

発明を実施するための形態

[0012] 本発明の実施形態を、図面を参照して説明する。図1は、本実施形態のスケジュール表示装置の構成を示すブロック図である。

[0013] 図1に示すように本実施形態のスケジュール表示装置は、入力部1と、表示処理部2と、表示部3とを備える。

[0014] 入力部1は、ユーザによる入力操作を受け付ける。入力部1は、例えばスマートフォン等の携帯端末に用いられるタッチパネルである。

[0015] 表示処理部2は、スケジュール表を、3次元形状の物体を示す画像を用いて表示部3に表示させる。3次元形状の物体は、例えば螺旋状に形成された帯である。また、表示処理部2は、ユーザの操作に応じてスケジュール表の表示内容を変更させる。表示処理部2は、例えば、特定の演算処理等を行うよう設計されたハードウェア、またはスケジュール表示プログラムに従って動作するCPU (Central Processing Unit) 等の情報処理装置によって実現される。

[0016] 表示部3は、表示処理部2から受け取った表示内容を表示する。表示部3は、例えば、携帯端末の液晶ディスプレイである。

[0017] 次に、本実施形態のスケジュール表示装置の動作を説明する。図2は、本実施形態のスケジュール表示装置の動作を示すフローチャートである。

[0018] 表示処理部2は、ユーザの操作に従い、スケジュール表の初期表示を行う(ステップS1)。表示処理部2は、例えば、携帯端末にインストールされているスケジュール表示プログラムが起動された際に、スケジュール表の初期表示を行う。

[0019] 図3は、スケジュール表の表示例を示す説明図である。図3に示すように

、表示処理部2は、スケジュール表を、螺旋状に形成された帯を用いて表示する。螺旋状の各段には、1日のスケジュールが表示されている。表示処理部2は、表示されるスケジュールを、例えばアイコンや記号等で表してもよい。そのような表示方法を用いることにより、スケジュールとして表示される項目の時間幅が短くても、ユーザがスケジュールの内容を認識できる。

[0020] また、表示処理部2は、1日のスケジュールのうち、手前側に表示される項目ほど、単位時間当りの幅が広くなるように表示する。例えば図3に示す例では、6時から9時までおよび15時から18時までの時間帯よりも手前側に表示される9時から15時までの時間帯のほうが、単位時間あたりの幅が広い。よって、手前側に表示される項目に記載された内容はユーザにとって見易く、操作がし易い。特に入力部1がタッチパネルである場合、ユーザは指で操作するため、操作範囲が狭いと操作しづらいが、このように表示することにより手前側の項目は操作がし易くなる。

[0021] また、表示処理部2は、スケジュール表に表示される時間として、図3では6時、9時、12時、15時、18時という5つの時間を帯に重ねて表示しているが、このような表示方法に限らない。表示処理部2は、例えば、時間を1時間毎に表示してもよいし、帯に重ねて表示するのではなく、帯の上部に表示してもよい。

[0022] また、表示処理部2は、最上段の帯のうち、所定の位置より手前側に表示された範囲を、スケジュール項目に対する操作が可能な活性状態とする。また、表示処理部2は、スケジュール表内の他の部分をスケジュール項目に対する操作が不可能な非活性状態とする。図3に示す例では、3/4（月）の9時から18時までの部分が活性状態となっている。また、表示処理部2は、活性状態の部分（活性部分）を、他の部分と異なる色で表示する。そのため、ユーザが、活性状態かどうかを容易に判別することができる。図3に示す例では、3/4（月）の9時から18時までが活性状態となっているが、ユーザは、活性状態とする範囲を任意に設定することができる。表示処理部2は、例えば、最上段に限らず、所定の位置より手前側に表示された範囲を

全て活性状態としてもよい。

[0023] 活性部分のうち、スケジュール項目の端部以外の場所が操作されると（ステップS2のYES、ステップS3のNO）、表示処理部2は、そのスケジュール項目の詳細内容を表示する。図3に示す例では、作業1と記載された部分が押下されると、表示処理部2は、作業1の詳細内容を表示する。

[0024] 図4は、スケジュールの詳細内容の表示例を示す説明図である。活性状態の項目の端部以外の場所が押下されると、図4に示すように、表示処理部2は、画面の左上にその部分のスケジュールの詳細内容を表示する。スケジュールの詳細内容が表示される場所は画面の左上とは限らず、他の場所であってもよい。

[0025] 活性状態のスケジュール項目の端部が操作されると（ステップS2のYES、ステップS3のYES）、表示処理部2は、そのスケジュール項目の表示幅を変更する（ステップS5）。つまり、表示処理部2は、操作されたスケジュール項目の時間帯を変更する。図3に示した例では、ユーザがスケジュール項目の端部を右側にずらす操作をすると、時刻（開始時刻または終了時刻）が遅くなり、スケジュール項目の端部を左側にずらす操作をすると、時刻（開始時刻または終了時刻）が早くなる。図3に示す例では、利用者が作業1の開始時刻の12時を示す線または終了時刻の15時を示す線をずらすと、表示処理部2は、作業1の開始時刻または終了時刻を変更する。

[0026] 図5は、スケジュールの時間が変更された画面の例を示す説明図である。図5に示す画面では作業1の開始時間が図3および図4に示す画面より1時間遅くなっている。活性部分は、手前側にあるため大きく表示されているので、ユーザは表示幅を容易に変更することができる。

[0027] スケジュール項目に対する操作が不可能な非活性状態の部分（非活性部分）が操作されると（ステップS6のYES）、表示処理部2は、3次元形状の物体の表示形態を変更する（ステップS7）。具体的には、ユーザが非活性部分を横（時間軸方向）になぞると、表示処理部2は、なぞられた方向に沿って3次元形状の物体を回転させる。これにより、表示処理部2は、手前

側に表示する時間帯を変更する。これにより、ユーザは、見たい時間帯を手前側に移動させることが可能となる。また、活性部分は、表示位置により決まるため、ユーザは、活性部分を自由に変更することができる。

[0028] また、ユーザがスケジュール表の非活性部分を上または下になぞると、表示処理部2は、スケジュール表に表示する日程を変更する。具体的には、現在の日程が表示されている状態で、ユーザが非活性部分を上になぞると、表示処理部2は、未来の日程を表示し、ユーザが非活性部分を下になぞると、過去の日程を表示する。これにより、ユーザは、表示する日程を自由に変更することができる。

[0029] 表示処理部2は、例えば、ユーザが螺旋の下方の部分を指でおさえ他の指で螺旋部分を上になぞると、螺旋の上部に表示されていた一部の段を非表示とすることにより表示する段数を減らし、帯の上下幅を太くする。また、表示処理部2は、例えば、ユーザが螺旋の上方の部分を指でおさえ螺旋部分を下になぞると、螺旋の下部に表示されていた一部の段を非表示とすることにより表示する段数を減らし、帯の上下幅を太くする。

[0030] また、段数を増やし、帯の上下幅を細くするためには、ユーザが上記の操作と逆の操作をすればよい。例えば、表示処理部2は、ユーザが螺旋の下方の部分を指でおさえ他の指で螺旋部分を下になぞると、上方に隠れていたスケジュールを表示することにより段数を増やし、帯の上下幅を細くする。また、表示処理部2は、ユーザが螺旋の上方の部分を指でおさえ他の指で螺旋部分を上になぞると、下方に隠れていたスケジュールを表示することにより段数を増やし、帯の上下幅を細くすることができる。

[0031] 図6は、スケジュール表の段数が変更された画面の例を示す説明図である。図6では、図3に示す画面状態において、螺旋の上方の部分を指でおさえ螺旋部分を下になぞった後の状態を示している。図6に示すように、図3において螺旋の下部に表示されていた3月7日以降を表示していた段が非表示となり、帯の上下幅が太くなっている。また、帯の上下幅が太くなったことにより、各スケジュール項目に詳細内容が表示される。これにより、ユーザ

は、スケジュールの内容を容易に確認することができる。図6に示す状態から図3に示す状態に戻すには、螺旋の上方の部分を指でおさえ他の指で螺旋部分を上になぞればよい。

[0032] スケジュール項目を操作可能な活性状態の範囲が限定されているため、ユーザは、誤ってスケジュール項目の操作をすることなく、表示する日程を変更したり、スケジュール表の段数および帯の上下幅を変更したりすることができる。

[0033] 図3から図6に示したスケジュール表は、螺旋状の帯に表示されているが、スケジュールが表示されるものは、3次元形状であれば他の形状の物体でも構わない。例えば、表示処理部2は、球体、円柱、または複数の輪などの物体にスケジュール表を表示させてもよい。また、スケジュール表の色は、日によって異なる色で表示されていてもよい。

[0034] 本実施形態のスケジュール表示装置は、スケジュール表のうちの手前側の部分ほど、単位時間あたりの幅を大きく表示するため、操作性および一覧性が高いスケジュール表を表示することができる。

[0035] また、本実施形態のスケジュール表示装置は、手前側の項目を大きく表示するため、特に、入力部1がタッチパネルである場合に、ユーザによる操作がし易いという効果を有する。また、スクロールバーを表示する必要がないため、例えば、スクロールバーの操作をしようとしてスケジュール項目の変更操作をしてしまうという誤操作も防止できる。

[0036] また、本実施形態のスケジュール表示装置は、所定の位置より手前側に表示された範囲のみ、スケジュール項目に対する操作が可能な活性状態とする。また、手前側に表示されているスケジュール項目は大きく表示されているため、ユーザが操作したい項目以外の項目を操作してしまうような誤操作を抑制することができる。

[0037] 図7は、本発明によるスケジュール表示装置の主要部の構成を示すブロック図である。図7に示すように、スケジュール表示装置は、携帯端末の画面に3次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表を表示する表示処理

部 2 を備え、表示処理部 2 は、物体の手前側に表示されるスケジュール項目ほど、単位時間当りの幅を広く表示する。

[0038] また、上記の実施形態には、以下の（１）～（５）に記載されたスケジュール表示装置も開示されている。

[0039] （１）表示処理部（例えば、表示処理部 2）が、スケジュール表のうち所定の位置より手前側の部分を、スケジュール項目に対する操作が可能な活性状態にし、スケジュール表内の他の部分をスケジュール項目に対する操作が不可能な非活性状態にするスケジュール表示装置。このようなスケジュール表示装置によれば、手前側に表示される項目に記載された内容はユーザにとって見易く、操作がし易い。特に入力部がタッチパネルである場合、ユーザは指で操作するため、操作範囲が狭いと操作しづらいが、このように表示することにより手前側の項目は操作がし易くなる。

[0040] （２）スケジュール表示装置は、表示処理部が、活性状態であるスケジュール項目の端部以外の部分が操作された場合に、当該スケジュール項目に関して、すでに表示されている内容よりも詳細な内容を表示するように構成されていてもよい。

[0041] （３）スケジュール表示装置は、表示処理部が、活性状態であるスケジュール項目の端部が操作された場合に、当該スケジュール項目の時間帯を変更するように構成されていてもよい。

[0042] （４）スケジュール表示装置は、表示処理部が、スケジュール項目に対する操作が不可能な非活性状態である部分が操作された場合に、スケジュール表を動作させることにより 3 次元形状の物体の表示形態を変更するように構成されていてもよい。このようなスケジュール表示装置によれば、ユーザは、見たい時間帯を手前側に移動させることが可能となる。また、活性部分は、表示位置により決まるため、ユーザは、活性部分を自由に変更することができる。

[0043] （５）スケジュール表示装置は、表示処理部が、タッチパネルにより操作される携帯端末の画面に 3 次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表

を表示し、非活性状態である部分をなぞる操作がされた場合に、なぞられた方向に沿って３次元形状の物体を回転させることにより手前側に表示する時間帯を変更するように構成されていてもよい。

[0044] この出願は、２０１３年３月２１日に提出された日本出願特願２０１３－０５８２２４を基礎とする優先権を主張し、その開示の全てをここに取り込む。

[0045] 以上、実施形態を参照して本願発明を説明したが、本願発明は上記実施形態に限定されるものではない。本願発明の構成や詳細には、本願発明のスコープ内で当業者が理解し得る様々な変更をすることができる。

産業上の利用の可能性

[0046] 本発明は、スマートフォンやタブレット端末等に適用できる。

符号の説明

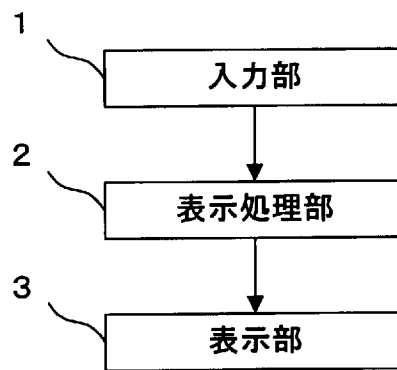
- [0047] １ 入力部
２ 表示処理部
３ 表示部

請求の範囲

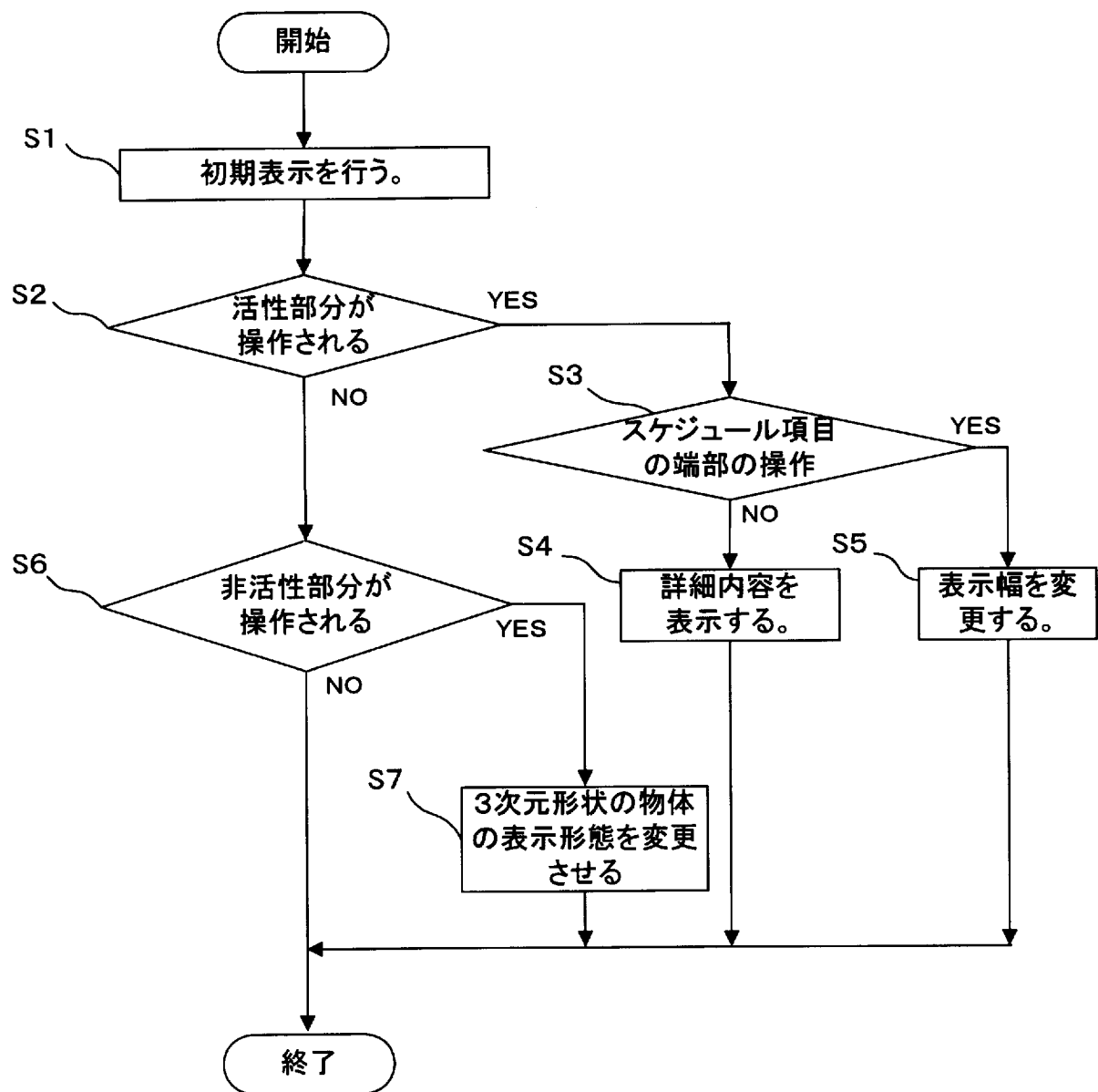
- [請求項1] 携帯端末の画面に3次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表を表示する表示処理部を備え、
前記表示処理部は、前記物体の手前側に表示されるスケジュール項目ほど、単位時間当りの幅を広く表示することを特徴とするスケジュール表示装置。
- [請求項2] 表示処理部は、スケジュール表のうち、所定の位置より手前側の部分をスケジュール項目に対する操作が可能な活性状態にし、前記スケジュール表内の他の部分を前記スケジュール項目に対する操作が不可能な非活性状態にする
請求項1記載のスケジュール表示装置。
- [請求項3] 表示処理部は、活性状態であるスケジュール項目の端部以外の部分が操作された場合に、当該スケジュール項目に関してすでに表示されている内容よりも詳細な内容を表示する
請求項2記載のスケジュール表示装置。
- [請求項4] 表示処理部は、活性状態であるスケジュール項目の端部が操作された場合に、当該スケジュール項目の時間帯を変更する
請求項2または請求項3記載のスケジュール表示装置。
- [請求項5] 表示処理部は、非活性状態である部分が操作された場合に、3次元形状の物体の表示形態を変更する
請求項2から請求項4のうちのいずれか1項に記載のスケジュール表示装置。
- [請求項6] 表示処理部は、タッチパネルにより操作される携帯端末の画面に3次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表を表示し、非活性状態である部分をなぞる操作がされた場合に、なぞられた方向に沿って前記3次元形状の物体を回転させることにより手前側に表示する時間帯を変更する
請求項5記載のスケジュール表示装置。

- [請求項7] 携帯端末の画面に3次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表を表示し、
 前記物体の手前側に表示されるスケジュール項目ほど、単位時間当りの幅を広く表示すること
 を特徴とするスケジュール表示方法。
- [請求項8] スケジュール表のうち、所定の位置より手前側の部分をスケジュール項目に対する操作が可能な活性状態にし、前記スケジュール表内の他の部分を前記スケジュール項目に対する操作が不可能な非活性状態にする
 請求項7記載のスケジュール表示方法。
- [請求項9] コンピュータに、
 携帯端末の画面に3次元形状の物体を示す画像を用いてスケジュール表を表示し、前記物体の手前側に表示されるスケジュール項目ほど、単位時間当りの幅を広く表示する表示処理
 を実行させるためのスケジュール表示プログラム。
- [請求項10] コンピュータに、
 表示処理で、スケジュール表のうち、所定の位置より手前側の部分をスケジュール項目に対する操作が可能な活性状態にし、前記スケジュール表内の他の部分を前記スケジュール項目に対する操作が不可能な非活性状態にする処理を実行させる
 請求項9記載のスケジュール表示プログラム。

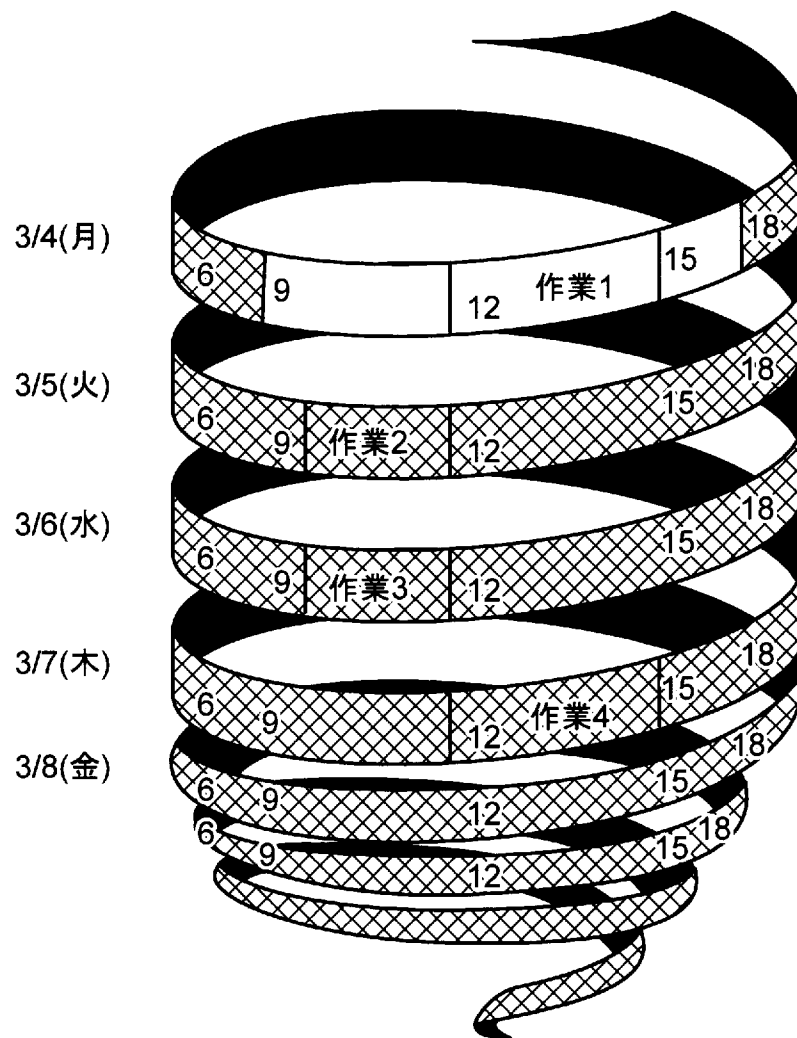
[図1]



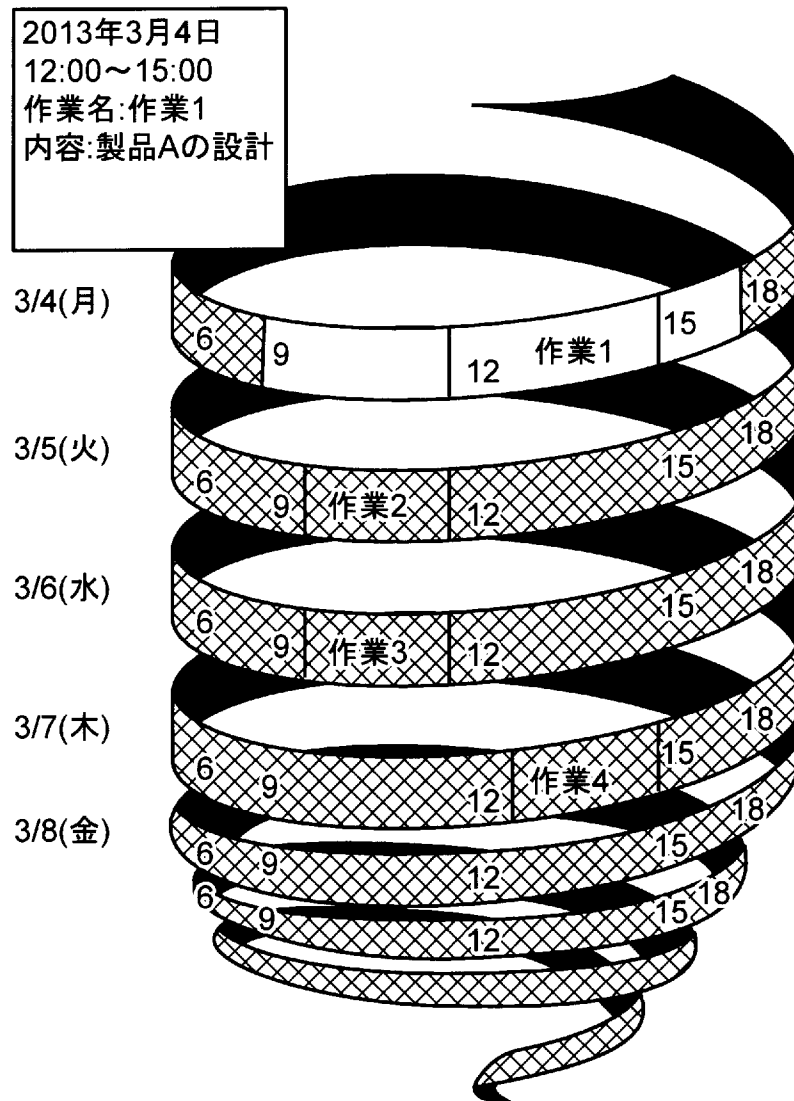
[図2]



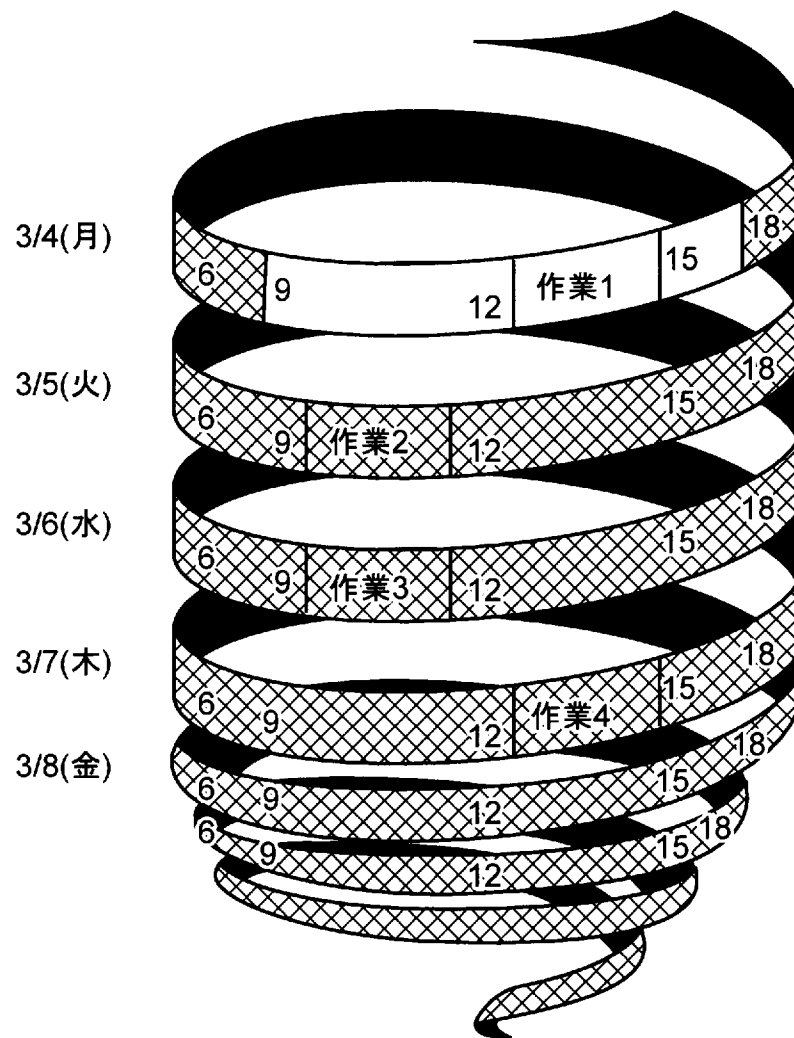
[図3]



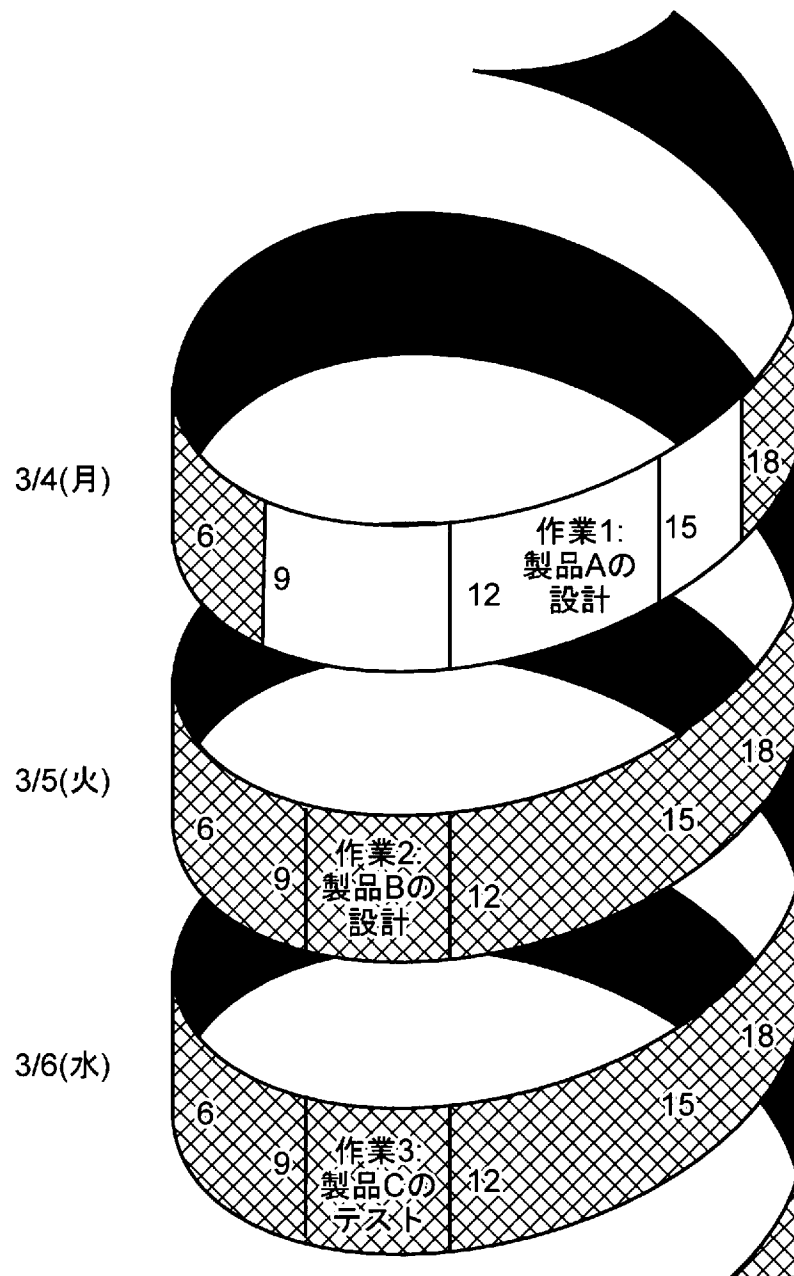
[図4]



[図5]



[図6]



[図7]

2

表示処理部

[図8]

◀ 2013年3月4日(月) ▶	
8	
9	作業1
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/000185

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06Q10/10(2012.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q10/10, G06F3/048

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2014
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2014	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2014

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2006-72420 A (Masato HIRAKAWA), 16 March 2006 (16.03.2006), entire text; all drawings (Family: none)	1, 7, 9 2-6, 8, 10
X Y A	JP 2001-202340 A (Seiko Epson Corp.), 27 July 2001 (27.07.2001), paragraphs [0336] to [0382] (Family: none)	1, 7, 9 2-5, 8, 10 6
Y	KONISHI, Kongetsu no Shinseihin Software Web Browser no Atarashii Design o Kirihiraku ka? CubicEye, ASCII, 01 April 2001 (01.04.2001), vol.25, no.4, page 250	2-6, 8, 10

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
26 February, 2014 (26.02.14)

Date of mailing of the international search report
11 March, 2014 (11.03.14)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/000185

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2002-74322 A (Sony Corp.), 15 March 2002 (15.03.2002), entire text; all drawings & US 2002/0054158 A1	1-10
A	JP 2010-26985 A (Sony Corp.), 04 February 2010 (04.02.2010), entire text; all drawings & US 2010/0020048 A1 & EP 2148269 A1 & CN 101634934 A	1-10
A	Akihiro SEKINE et al., "Visualization of UNIX log using 3D Spiral", IPSJ SIG Notes (2000-HI- 88), 12 May 2000 (12.05.2000), vol.2000, no.39, pages 51 to 58	1-10

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q10/10(2012.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q10/10, G06F3/048

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2014年
日本国実用新案登録公報	1996-2014年
日本国登録実用新案公報	1994-2014年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 2006-72420 A（平川正人）2006.03.16, 全文, 全図（ファミリーなし）	1, 7, 9
Y		2-6, 8, 10
X	JP 2001-202340 A（セイコーエプソン株式会社）2001.07.27, 第336～382段落（ファミリーなし）	1, 7, 9
Y		2-5, 8, 10
A		6

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

26.02.2014

国際調査報告の発送日

11.03.2014

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

鈴木 和樹

5M

3252

電話番号 03-3581-1101 内線 3599

C (続き) . 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	小西, 今月の新製品 Software Webブラウザの新しい デザインを切り開くか? Cubic Eye, ASCII, 2001.04.01, 第25巻, 第4号, p. 250	2-6, 8, 10
A	JP 2002-74322 A (ソニー株式会社) 2002.03.15, 全文, 全図 & US 2002/0054158 A1	1-10
A	JP 2010-26985 A (ソニー株式会社) 2010.02.04, 全文, 全図 & US 2010/0020048 A1 & EP 2148269 A1 & CN 101634934 A	1-10
A	關根章裕、外1名, 3次元らせん表示を用いたUNIXログの視覚 化, 情報処理学会研究報告 (2000-HI-88), 2000.05.12, 第2000巻, 第39号, p. 51-58	1-10